いなべ市

議会だより

第31号

平成23年11月1日

発行 三重県いなべ市議会 編集 議会広報編集委員会

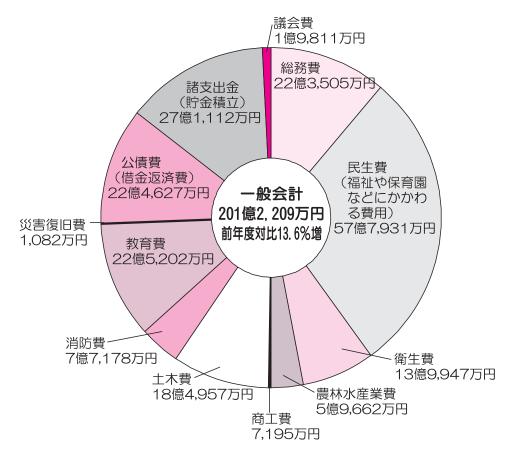


員弁中学校ランチルーム

2学期から給食が開始されました。

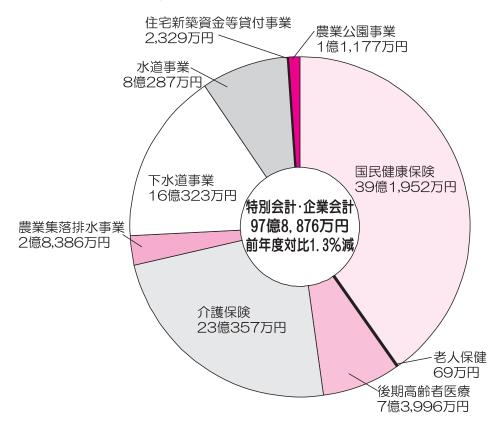
9月定例議会

| 平成22年度決算を認定 | P2~P3 |
|--------------------|----------|
| 常任委員会の審査結果 | P4~P6 |
| 請願に基づき意見書を提出 | P7 |
| 議員発議が出されました | P7 |
| 反対VS賛成討論 | P8 ~ P11 |
| 議案の審議結果一覧表 | P11 |
| 9人が一般質問 | P12~P16 |
| 教育民生常任委員会視察研修 | P17 |
| 産業建設常任委員会視察研修 | P17~P18 |
| 市民の声 | P18~P19 |
| クイズの当選者・災害ボランティア活動 | P20 |
| 編集後記・12月定例議会(予定) | P20 |





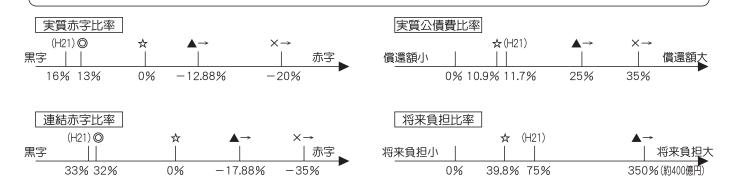
を認定しました



平成22年度いなべ市健全化判断比率(4指標)について

H22年度決算については、4指標をクリアしています。

- × 財政再生基準(レッドカード)…………1つでも該当すると国の管理下で再生へ
- ▲ 早期健全化基準(イエローカード)……1つでも該当すると外部監査を受け健全化へ
- ☆ いなべ市のH22年度決算数値(◎は参考数値)



いなべ市は当面の間、財政再生基準(レッドカード)はもちろん、早期健全化基準(イエローカード)をクリアすることができますが、4指標の動向を慎重に見守りながら健全な財政運営に努めます。

常任委員会の審査結果

総務常任委員会

付託案件の審査、9月13日(議案5件)

| ○災害対策基金条例の制定······(全 | :員賛成) |
|------------------------|-------|
| ○税条例の一部を改正(全 | :員賛成) |
| ○財産の取得について (消防車両購入)(全 | :員賛成) |
| 〇平成23年度一般会計補正予算(第2号)(全 | :員賛成) |
| ○平成22年度一般会計歳入歳出決算認定(全 | :員賛成) |

委員会での主な質疑

災害対策基金条例の制定

- ② この基金の使い道で『災害に強い安全で安心なまちづくり』のためというのは具体的にどういうことを行なうのか。また、災害復旧の場合には県の仕事と市の仕事という部分があるが、そのあたりの区分けはどのように考えているのか。
- ▲ 先ほどの『災害に強い安全で安心なまちづくり』 のための事業とは、市民または自治会などからの 要望により、災害対策に対する事業を進めたいと 思っている。復旧のための事業については、基本 的には市が行なう災害復旧事業の補助以外の部分 についての支出と考えている。

平成23年度一般会計補正予算(第2号)

② 太陽光蓄電システム導入支援補助金であるが、設置予定筒所はどこか。



避難所に指定されている藤原文化センター

○ この県補助事業については、事業の要項の中で市が指定する避難所という条件がある。いなべ市の中には現在20カ所の指定避難所があるが、実際に避難所の稼働率が1番高いのは土石流の避難所ということで藤原文化センターである。その他の19カ所の避難所は今までに開設した実績はない。そういった関係で藤原文化センターに設置を考えている。

- ② コンビニ収納について、料金の支払いは市外のコンビニからでもいいのか。納付の手数料はかからないのか。
- 日本全国のコンビニで支払いが可能であるが、当然加盟しているチェーン店で、私たちが普段目にするところはほとんど全部入っていると思う。それから、手数料は納付者の方は必要ありません。

教育民生常任委員会

付託案件の審査、9月14日(議案13件)

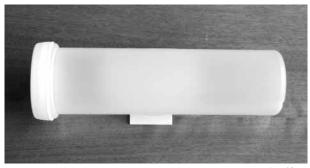
| 〇平成23年度一般会計補正予算(第2号)(全員賛成) |
|---------------------------------------|
| 〇平成23年度市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)(賛成多数) |
| 〇平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(全員賛成) |
| 〇平成23年度介護保険特別会計補正予算(第1号)(全員賛成) |
| 〇平成22年度一般会計歳入歳出決算認定(賛成多数) |
| 〇平成22年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定(賛成多数) |
| 〇平成22年度市老人保健特別会計歳入歳出決算認定(全員賛成) |
| 〇平成22年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定(賛成多数) |
| 〇平成22年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定(全員賛成) |
| ○「義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担」を求める請願(全員賛成) |
| ○「教職員定数改善計画の着実な実施と教育予算拡充」を求める請願(全員賛成) |
| 〇「保護者負担の軽減と就学・修学支援に |
| 関わる制度の拡充」を求める請願(全員賛成) |
| ○「防災対策の見直しをはじめとした総合的な |
| 学校安全対策の充実」を求める請願(全員賛成) |

委員会での主な質疑

平成23年度一般会計補正予算(第2号)

- ② 地域サポーター育成委託料の事業内容は。
- ▲ 地域住民主体の地域支え合い体制づくりを進める ために、その担い手としてリーダーの居場所づく りなどを立ち上げていくための人材を育成する事業である。

② 『お助け箱』配布事業の内容は。



お助け箱

▲ 住所、氏名、年齢、緊急連絡先などを記入してある用紙を容器に入れて冷蔵庫で保管する。救急時に救急隊員または近所の方が見て医療機関へ情報を伝えるとか、緊急連絡先へ連絡するために利用するものである。

平成22年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

- ② 平成21年度と比較して療養給付費(医療費)の 増減はどれぐらいか。
- 🛕 2.9%減で約8,300万円の減額となっている。

產業建設常任委員会

付託案件の審査、9月15日(議案9件)

| 〇平成23年度一般会計補正予算(第2号)(賛成多数) |
|--|
| 〇平成23年度農業公園事業特別会計補正予算(第 1 号)(全員賛成) |
| 〇平成23年度下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)(全員賛成) |
| 〇平成22年度一般会計歳入歳出決算認定(全員賛成) |
| 〇平成22年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定(全員賛成) |
| 〇平成22年度農業公園事業特別会計歳入歳出決算認定(全員賛成) |
| 〇平成22年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定(全員賛成) |
| 〇平成22年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定(全員賛成) |
| ○平成22年度水道事業会計決算認定 ··············(全員替成) |

委員会での主な質疑

平成23年度一般会計補正予算(第2号)

- 市の観光資源というものが明確にないので、それをPRするとか、観光客が来て市が潤うという想像ができない。収益に繋がるような観光資源とは、どんなものがあるのか。
- 一番収益を上げているのが農業公園。農業公園の梅まつり、ぼたんまつりは集客を呼んでいる。梅まつりについては約4万人の観光客があり、帰りには阿下喜温泉での入浴、直売場で買い物をしてもらっている。
- 農業振興施設事業費300万円の減額について説明を求める。



山口パーキング

▲ 「ふじのいち」は、相当前から閉めている状態であるが、そこをそばの直売所を兼ねた店舗にと考えていたのだが、バンブーハウスさんが、場所的に山口パーキングのほうが良いということで変更になり、300万円を減額した。

平成22年度一般会計歳入歳出決算認定

- ② 空き家バンクの件で、パンフレットを作成したようだが、実際、年間どれだけの人が借りるのか。 また、普段はどのような活動をしているのか。
- ☆ 空き家バンク制度の活動については、市のホームページ、広報誌リンクに掲載して空き家の情報を提供している。それから、本年度に各庁舎、阿下喜温泉、青川キャンプ場に空き家バンク制度の申込書、啓発用ハンドタオルを置いた。空き家の申し込み数については、提供者は3軒あり、借りたいという希望者は数十件ある。

請願に基づき意見書を提出

「義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担を求める」

義務教育無償の原則により、教育の機会均等と水準の維持向上を図るために設けられた義務教育費国庫負担制度を存続し、全額国負担とされたい。

「教職員定数改善計画の着実な実施と教育予算拡充を求める」

子どもたちの「豊かな学び」の保障に向け、「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算の拡充を行っていただきたい。

「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める」

家庭の経済的な理由により、子どもたちの学びなどに影響がでることのないよう、保護者負担の軽減と就学・ 修学に関わる制度を拡充すること。

「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める」

子どもたちの安心・安全を確保するため、巨大地震等の災害を想定した防災対策の見直しをはじめ、総合的な学校安全対策を行っていただきたい。

議員発議が出されました

「市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正」

いなべ市議会は合併以来今日まで、時代に即応した 議会改革、議会活性化に取り組んできた。

三重県知事、名古屋市長、隣町の東員町など、多くの首長においては大幅に給料を削減し、諸課題に取り組んでいる。

いなべ市においては市長自らが、平成19年度以降 市の財政は緊急事態、深刻な財政不足、危機的な状況 提出者 いなべ市議会議員 伊 藤 正 俊 賛成者 いなべ市議会議員 奥 岡 征 士

などと施政方針で繰り返し述べるとともに、そのことを市のホームページで広く社会に向けて訴えつづけた。 市長は説明責任を十分果たしたと考えている。

そこで、このような事態を打開する一つの具体的な 手段として、先ずは我が身からと、議員報酬の30% の削減を提案するものである。

これが、この発議を提出する理由である。

「市長及び副市長の給与及び旅費等に関する条例の一部改正」

三重県知事、名古屋市長、隣町の東員町など、多く の首長においては大幅に給料を削減し、諸課題に取り 組んでいる。

いなべ市においては市長自らが、平成19年度以降 市の財政は緊急事態、深刻な財政不足、危機的な状況 などと施政方針で繰り返し述べるとともに、そのこと を市のホームページで広く社会に向けて訴えつづけた。 提出者 いなべ市議会議員 伊 藤 正 俊 賛成者 いなべ市議会議員 奥 岡 征 士

市長は説明責任を十分果たしたと考えている。

そこで、このような事態を打開する一つの具体的な 手段として、市長、副市長の給料の20%の削減を提 案するものである。

これが、この発議を提出する理由である。

反对 VS 赞成討論

本会議において反対・賛成の両方の討論があった議案は次のとおりです。

●平成22年度一般会計歳入歳出決算認定

(賛成多数 可決)

平成22年度の決算を、地方自治法の規定により、監査委員の意見をつけて認定に付するものです。

反対討論①

石原 瞭 議員

「不況に苦しむ市民への負担増で市の財政が潤うのは許せない」

平成22年度は、いなべ市独自の取り組みとして第 2期集中改革プラン(計画年次:平成22年~26年) の取り組みが行われ、公共料金の見直し等が行われた。

市長は平成22年度施政方針のなかで、国民健康保険料5%引き上げ、保育料13%引き上げ、水道料は2系統の統一を基礎に9%引き上げ、これは後で取り下げられたが斎場使用料を1万円から3万円の引き上げなどを言及している。

一方、提示された決算数字は、歳入歳出差し引き約 18億円の黒字であり、しかも財政調整基金積立金15 億円、市債管理基金積立金12億円など基金を大幅に 増やしている。

先日発表された、平成22年度いなべ市健全化判断 比率でも、将来負担比率が75%から39.8%へと大幅 な改善がされた。

しかし、歳入決算の市民税をみると、法人は昨年と比べて2億円の増となっているが、個人の市民税は3億円ものマイナスになっている。これは市民のくらしが、昨年にくらべ大きく悪化したことを示しており、執行部の見解でもこれは経済不況によるものである。市民が倒産・廃業・失業・賃下げで苦しんでいるなかで、市民への負担増によって、市の財政が潤い健全になっているのはいかがなものか。自治体は、市民のくらしを守るのが第一の使命であり、そういう意味から平成22年度決算は評価できない。

反対討論②

清水 実 議員

「市長・副市長への不信感がある」

①市長の最高裁判所への上告した真意が不明であり、 土地開発公社理事長や社会福祉協議会の理事長兼務に 対する不信感がある。②副市長の東京出張旅費問題へ の不信感がある。③商工会への「市民」からの申し立 て書の件に対する農林商工部の指導力が低下している。 ④教育委員会において寒桃の天然記念物指定では、国 の基準のみで現場調査や学者の意見も尊重せずに未指 定である。いなべ市の基準はなく移植で指定の「寝が ヤ」には無言のままである。以上4点の理由から考え て、私は、いなべ市行政が真に市民のためになってい ないと思い反対をする。

平成22年度一般会計予算は、経済危機の影響に伴う厳しい財政状況下、現状を鑑み選択と集中をもって計上された予算である。

なお、税収の低迷に対しては、人件費や施設の維持 管理費の削減、繰上償還に伴う公債費の削減などが図 られている。そういったなか、住民の要望に応えるべ く、合併特例債や補助金を大いに活用し、小学校、保 育園などにおける教育施設はもとより、福祉施設など の予算を着実に遂行している。

よって、一般会計歳入歳出決算認定については、以上のことを踏まえ、議決した予算が適正に執行されて おり、承認すべきものと判断をして賛成討論とする。

賛成討論②

鈴木 順子 議員

「市民の暮らしを守りつつ、 財政健全化を図っている」

平成22年度の歳入においては、個人所得の減少が 市税収入の減少につながったが、歳出においては高齢 化の進展や景気の後退により、社会保障費の増加が際 立ち、大変厳しい財政運営となった。しかし合併特例 債や臨時財政対策債などを活用し、員弁西小学校の体 育館・プールの建設、大安中央保育園の建設、市内の 学校の耐震化の推進、学校給食施設の整備を進めた結 果、この9月から給食が開始されるなど、教育・福祉 に重点を置いた取り組みを行なっている。その他にも、 市民の要望に応えるために自治会への助成、農業振興、 商工振興など活力あるいなべ市の建設にも力を入れて いる。

また、自殺予防、ワクチン接種、障害者支援など命を守る事業にも取り組み市民の安心・安全なまちづくりなど限られた財源を重点的かつ効率的な配分により計画的・効果的な事業の取り組みがなされた。平成26年度に合併特例債の償還のピークになることを見込んで、将来を見据え、市債管理基金を積み立てるなど財政健全化を図るよう努力していることが見受けられる。財政が厳しい中において、補助金・交付金を充分に活用し、市民の暮らしを守りつつ、財政健全化を図っているものと考え、平成22年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定に賛成する。

●平成22年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 (賛成多数 可決)

平成22年度の決算を、地方自治法の規定により、監査委員の意見をつけて認定に付するものです。

| **反対討論** | 衣笠 民子 議員 | 「国保料の値上げは必要なかった」

いなべ市は、4町の合併協定で「サービスは高く、 負担は低く」と国民健康保険料の料率は、最も低かっ た藤原町の料率に合わせてきた。こうした措置を実施 するにあたっては一般会計や国民健康保険会計の基金 から収入不足分の繰り入れを行ってきた。

この間、全国では国民健康保険の高すぎる保険料が 滞納を生み出し、医療から住民を遠ざけている事態が 問題になっている。そんな中で、いなべ市が国保会計 に果たしてきた役割は先進的な取り組みとして評価で きるものだった。

平成21年9月に行われた総選挙で「政治は住民の生活を守って欲しい」という声が大きくなり、「国民いじめの政治にノー」という審判がくだされた。それほどまで、国民の暮らしは大変になっている。いなべ市がこうした時期に保険料5%の値上げを行ったことは民意に逆行しており許されない。平成22年度予算では、あと2千万円ほど一般会計から繰り入れを行えば、1人当たり保険料で前年度並に維持ができた。

いなべ市でも例外なく住民の生活は大変である。一般会計の決算状況を見ても、地方交付税収入が多く、値上げをしなくても十分よかったのではないか。予算の時にも、値上げすべきでないと指摘したが、その中で値上げを行った国民健康保険会計歳入歳出決算認定には反対する。

| 賛成討論 小川 克己 議員 「受益と負担の原則から平当である」

住民全てが負担は低く、サービスは高くと願うところであるが、これを全て実行していたら「打出の小槌」があるのではなく、将来がどうなるか火を見るより明らかである。

かつて、大都会の学者知事が過剰サービスで財政破綻寸前となり、後任者が苦労して財政再建がされたのをご承知だと思うが、医療費が年々増加するなか、保険料の据え置きを続ければ毎年一般会計より国保会計にドンドンと税金を繰り入れて補填をして行かなければならず、一般会計への大きな負担となる。国民健康保険の被保険者の中には高額の年金受給者、事業での高額所得者もみえるが、この方たちにも補助をして行くことになり、市税納税者の中には高齢者夫婦、あるいは一人暮らしの方もみえ、間接的ではあるがこの方たちにも負担を強いることとなり、公平性に欠くことになる。

よって、受益者負担の平等の観点から賛成討論とする。

●市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

(賛成少数 否決)

議員報酬の30%削減を提案するものです。

反対討論①

岡 英昭 議員

「魅力ある議会のためにも 議員報酬削減には反対だ」

現在の報酬は、我々議員が勝手に決めたものではなく、報酬審議会が大所高所から近隣市町の報酬等を勘案し決定されたものであり、県下においても決していなべ市が突出しているものではない。今回の条例改正によって報酬を削減すれば、若い人が議員になっていなべ市を改革し、より良くしようという意欲も魅力も無くなると思われる。せめて他市より魅力ある議員報酬で市政に関心と憧れを持ってもらったり、議員活動

に集中し報酬一本で生計を立てられる最低限の現在の報酬を維持すべきであり、議員報酬の30%削減等は、未来のいなべ市政を背負っていただくためには考えられないことである。いなべ市の議員職を決して腰掛ポストにしてはならないし、いなべ市議会の権威とプライドを守りたく、以上の理由を以って反対討論とする。

賛成討論 奥岡 征士 議員

「地方議会存亡の危機・議会不要論に 対処して、市民に認められる議会を目指 そう」

地方議会は存亡の危機にあるとか議会不要という声が聞かれる。我々は議員定数の見直しや議員報酬の見直しが国民的話題であることを十分に承知して認識している。議員の処遇や報酬などは外部から要求されなくて率先垂範、自己改革が当然である。

そこで、会派「波動」では議会改革は至上命令であり、この機会を逃せば議会の存在を放棄するものだとの強い決意で真剣に何回も議論を行なった。①世論を無視して現状を放置すれば市民と議会の距離をますます拡大させることになる。②議員を志す人は報酬の多少に大きく左右されるものではない。③休日議会や夜間議会の開催という議会改革によって現役の年代にも議員活動が十分可能となる。④議員年金法の廃止に伴い実質手取り所得の減収は13%と大きくはない。⑤議会改革委員会では、1年以上の期間を費やして議論してきた結果を市民に形として示すべきタイムリミットであり、議員には、いなべ市内の企業の厳しい経営環境や民間労働者、公務員の給与引き下げの状況を十分考えて真摯な議論をお願いする。

結果は、市民に認められる議会となるものと確信して賛成討論とする。

反対討論②

衣笠 民子 議員

「参政権を広げてきた 民主主義発展の否定だ」

議員歳費の削減は、単に「金額をいくらにするか」という問題ではない。そもそも、議員報酬については現状を絶対視する必要はないが、今、はやりの「議員報酬は高すぎる」という風潮のように簡単に言えるのかは十分な検証が必要である。歴史的にみれば、当初の議員は有産階層(財産を持っている層)の名誉職であったために無給とされてきたが、無産階級の政治進

出の中で、その機会をより保障するものとして、歳費・報酬の公的支出が実現してきた。このような報酬制度の歴史的意義を無視することは、有権者の参政権を広げてきた民主主義の発展を否定することである。今後のいなべ市議会においても、多様な層からの議員の輩出を阻害しかねない。

市民の暮らしは、ますます厳しくなっている。市民の暮らしを守るという自治体本来の仕事をしっかりさせるよう、むだ遣いのチェック、施策の適切な優先順位、政策提案を行うことこそ、市民の付託に答える道であり、安易に「議員の歳費を減らすから市民にも負担を求める」というのでは議員としての仕事をしているといえない。

これからも、真摯に研鑽に励み、市民の暮らしに寄り添った提案を行っていくことを誓い、討論とする。

反対討論③

小川 克己 議員

「議員定数を削減して 全体報酬の減額を行なった」

議員報酬の削減案は市民受けすると思うが、平成17年度に議員定数の削減を行い、いなべ市として最初の市議会議員選後に市民の代表である報酬審議会で公正な議論による答申に基づいて議決しており、安易に議会で決めるべきではない。

高額な年金を受給してみえる方は、議員報酬の30 %削減は痛くも痒く無いと思う。

しかし、年金額の少ない方、あるいは今後多くの若年層に市議会議員にチャレンジしてもらい、専門職的に議員活動を行なうのには、ある程度の議員報酬は必要である。

また、現在の議員報酬は類似他市と比較しても多額ではない。短期的に見れば経費は圧縮され市民受けもするが、長期的に見れば失うものが多いに違いない。

なお、一昨年の市議会議員選挙には、議員定数を一度に4名の削減を行なって経費削減に勤めており、以上の観点から反対討論とする。

●市長及び副市長の給与及び旅費等に関する条例の一部改正

(賛成少数 否決)

市長と副市長の給与の20%削減を提案するものです。

反対討論①

太田 政俊 議員

い。

「給与削減の根拠が不明だ」

私は反対の立場で討論をする。

市民に対して耳ざわりの良い話をし、いなべ市の財 政が豊かになるとか、救われるという想像すらできな 私は「市長や副市長の給料を倍額にしてでも、なお 一層働いていただきたい」という思いからこの提案に 対して賛成できない。

賛成討論

奥岡 征士 議員

「市長自ら範を示すべし」

市長・副市長の給与を20%減額する条例改正案に 賛成の立場で討論する。私は過去の2回については賛 成ではなかった。それは市長や議員の処遇や報酬など は内部での自己改革が当然である。よって、部外から 要求されるまでも無く、自己改革が当然だと考えてい るからである。この提案についても越権、僭越ではないかなどを真剣に何回も何回も自問した件でもある。

その結論、①行財政改革の提案は議会議員の大きな 責務であり使命であると考える。②特別報酬審議会の 手をわずらわす必要はなく、議員提案が当然だと考え た。③いなべ市の数年後の財政状況は非常に厳しく現 状を放置することはできないと考えた。(「備えあれば 憂えなし」とのことわざの如く、我々は徹底的な財政 改革で市民に模範を示すべきである)議員も、いなべ 市財政の厳しい将来を思い、民間企業の厳しい経営状 況や民間の労働者や官公庁職員の給与引き下げが進む 状況を踏まえて真摯な議論をお願いする。

反対討論②

小川 克己 議員

「4年に一度の選挙のリスクを 考えたら給与削減の必要はなし」

先ほど3名の首長の削減例を言われたが、3名は選挙公約であり、選挙に勝利されたので公約の実行である。

いなべ市長の給与については、合併前旧4町の町長と比較をすれば、人口比、面積比、あるいは財政規模等の角度から見ても高すぎることは無いと思う。よく耳にする「猿は木から落ちても猿」ですが、市長は落ちたらただの人です。4年に一度の選挙のリスクを考えたら削減の必要はない。副市長も市長の考え方に準じる。

また、市長、副市長共に常に経費の削減と効率良い予算執行に努めてあり、以上の観点から反対討論とする。

議案の審議結果一覧表

賛成と反対に分かれた案件

~ 下記以外の20案件は全員賛成で可決しました ~

議長 水貝一道は採決に加わらない。 ○は賛成 ×は反対(付託委員会/総:総務常任委員会 教:教育民生常任委員会 産:産業建設常任委員会)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | _ |
|----------------------------------|-------------|------------|-------|----|-----|-------|----|----|----|-----|------|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | | | | | い日な水 | | 波 | | 無 | 無 | | | | | |
| | 会 | 派 | 新政いなべ | | | 政友クラブ | | | Ę | 政和会 | | いなべ市議団 | | | | 会 | 会 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 議院 | | 動 | | 派 | 派 | | | | | |
| 議案名 | 付託委員会 | 審議結果 | 小林 | 岡 | 位田書 | 種村 | 伊藤 | 林 | 太田 | 小林 | 鈴木 | 鈴木貝 | 多湖 | 川瀬 | 水谷 | 衣笠 | 石原 | 伊藤 | 奥岡 | 小川 | 清水 |
| | 女員会 | 結 果 | 昌彦 | 英昭 | まさ子 | 臣 | 弘美 | 正男 | 政俊 | 俊彦 | 順子 | 道 | 克典 | 利夫 | 治喜 | 民子 | 瞭 | 正俊 | 征士 | 克己 | 実 |
| 税条例の一部改正 | 総 | 可決 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | _ | 0 | 0 | 0 | × | × | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成23年度一般会計補正予算 (第2号) | 総·教·産 | 可決 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | × |
| 平成22年度一般会計歳入歳出決 算認定 | 総·教·産 | 認定 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | _ | 0 | 0 | 0 | × | × | 0 | 0 | 0 | × |
| 平成23年度国民健康保険特別会計歲入歲出決算認定 | 教 | 認定 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | _ | 0 | 0 | 0 | × | × | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成23年度後期高齢者医療特別 会計歲入歲出決算認定 | 教 | 認定 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | _ | 0 | 0 | 0 | × | × | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 「義務教育費国庫負担制度の存続 と全額国負担」を求める請願 | 教 | 採択 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 退席 | 退席 | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 「義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担」を求める意見書の提出 | 委員会 負託省略 | 可決 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 退席 | 退席 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 市議会の議員報酬及び費用弁償 等に関する条例の一部改正 | 委員会 負託省略 | 否決 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | _ | × | × | × | × | × | 0 | 0 | × | 0 |
| 市長及び副市長の給与及び旅費 等に関する条例の一部改正 | 委員会 負託省略 | 否決 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | _ | × | × | × | × | × | 0 | 0 | × | 0 |

一般質問

あなたの声を市政に

9月6日、7日に9人の議員が一般質問を行いました。 なお、一般質問の全内容は後日、市のホームページ、「市議会のページ」、「会議録検索システム」から 閲覧することができます。



無政いなべ 伊藤弘美

1.『わな免許』取得者は何 名か

2.『箱わな』購入への補助金を要望する

3.有害鳥獣捕獲に対する報酬を支出してはどうか

【質問1】 営害の駆除・防除に神経をとがらせ、被害が危機的な状況の中で市内の自治会が一丸となって活動を展開しており、多くの人が『わな免許』取得に挑戦したと聞くが取得者は何名か。

【農林商工部長】 合格者24名のうち『わな免許』 取得者は17名。

【質問2】 『箱わな』の支援について、私が3月 議会で質問をした時に市長は、3月時点で補助制度 はないが補助に対して予算枠内で対応、または補正 予算が必要か検討するとの答弁であったがどのよう に検討されたのか。

【農林商工部長】 市が所有する『箱わな』を希望者に貸し出しているが、現在、在庫がない状態である。『箱わな』の補助については、平成24年度から

実施できるように補助関係の詳細部分を詰める。

【質問3】 イノシシ・シカ捕獲の報酬については、1頭捕獲するのに相当の費用とエネルギーが必要である。他市の状況を鑑み、いなべ市も捕獲に対して報酬を支払って獣害捕獲活動に力を入れるべきと考える。財源不足と口にせずに田畑を荒らされる耕作者の気持ちを汲んで市の英断に期待する。東近江市はイノシシ1万7千円、シカ1万5千円の報酬を支払って対処している。

【農林商工部長】 捕獲した有害鳥獣の処分に苦慮していていることもあり、駆除費ではなく処分費という形で補助を考えていく。



箱わな

- 1.防災・災害対策は十 分か
- 2.認定NPO法人の育 成は
- 3.市有地を活用した市 営の老人施設建設を



新政いなべ 田 英昭

【質問1】 災害時を想定して避難所に「マンホー ルトイレ」の設置を。また、障害者に対する「福祉 避難所」を設けよ。

【総務部長】 国の補助も受けて、平成25年まで に20カ所、平成25年以降は市で設置を進める。ま た、障害者、高齢者の個別避難計画を策定し、バリ アフリー等の福祉避難所を整備する。

「新しい時代の公」の考え方をベース 【質問2】 に認定NPO法人の法律改正で寄付金の減税や設立 基準が容易になった。地域づくりの担い手として社 会サービスや雇用の提供者としての役割が期待され るNPOの育成計画は。

INABE-City Assembly Information Magazine

県の支援組織に職員を派遣し、活動 【福祉部長】 のノウハウを習得させて研修会を開き、市と対等な 関係のNPOの設立を支援していく。

高齢化の波が押し寄せている。誰もが 【質問3】 安心して一生涯を過ごせる市有地を活用した市営の 老人施設の建設を。

国、県の民間業者への補助金制度の 【福祉部長】 中では、市営の老人施設の建設は難しい。入居型、 ケアホーム型などの老人施設を民間業者に補助金を 活用して積極的に誘致していく。



防災備蓄倉庫

市の農政事業に財政 支援を



新政いなべ 種村正巳

【質問 1】 いなべ市農政事業の現状と今後のグロー バル化する経済発展のなか、弱者的立場にある農業 の体質強化を維持していくには、市としても活力の 出る財政援助が望まれる。以下の3項目を質問する。 ①農地・水・環境保全向上対策事業については、平 成23年度で事業が終了するが事業評価と今後は。 ②ストックマネジメント事業の取り組みは。③いな べ市農業用施設整備事業の受益者負担金制度の今後 は。

【農林商工部長】 ①農地・水・環境向上対策事業 は、総額3億1,302万1千円、市負担は約7,800万 円、県下24市町315地区で活動し(いなべ市55地 区)使いやすい交付金であった。今年度から新規事 業で農業用施設の事業費支払交付金制度が創設され た。20%の補助事業で実施希望地区はありません。

②ストックマネジメント事業は、六把野井水路4km 区間で平成24年度から事業化する。約4億円で75 %国庫補助、受益者25%負担金のうち、30%が市 補助金で実施予定。③いなべ市分担金制度について は、平成17年から実施され公共性の高い事業を除 き受益者として20%負担が定着している。

分担金制度については、個人的資産と公 共性資産の線引きも難しく、明確にするためにも制 度化した今後は有利な補助事業をいち早く取り入れ て負担の軽減に努めたい。



員弁川用水第一土地改良区頭首工



^{政友クラブ} 鈴木順子

- 1. 活力ある市をつくる ために
- 2.うつ病対策への取り組みは

【質問1】 ①市内の空き家は何件あるのか。平成20年度に「空き家再生等推進事業」が創設され、空き家を宿泊施設や地域のコミュニティスペースに再利用するなど活用できるが、事業の認識・活用は。②地元企業と地方自治体、市民らが一体となって進める「地方版CSR」の推進についてどのように考えているのか。③福祉バスは、高齢者の移動手段であり、社会参画を促し、まちを活性化させるが、市民の満足度を高めるための検討は。

【①建設部長、②企画部長、③都市整備部長】 ① 空き家は1,380戸。事業の認識はしていたが、詳しく把握していない。9月末に国土交通省の中部地方整備局から説明を受け具体的に対応する。②要望があれば市民活動センターを利用し、先進事例とCSRの紹介・研修に取り組むなど、意識の高揚につな

げたい。③利用者も増加し現在はこの形がベストと 考えるが、さらに検証・研究をしていく。

【質問2】 厚生労働省は4大疾病に精神疾患を追加し5大疾病とする方針を決めたが、うつ病対策として市の実態と今後の取り組みは。

【健康こども部長、福祉部長】 子育て支援、不安定な保護者の支援、高齢者の見守りなど各部署で対応し、相談を担当につなげ、場合によっては医療機関につなげている。うつ病への理解を深めるために「メンタルパートナーの養成」研修に参加している。



空き家バンク登録物件



^{政友クラブ} 小林俊彦

『まちおこし』に ついて問う

【質問】 特産物(農産物)による『まちおこし』の 現状と今後は。また、企業誘致による『まちおこし』 は。進出が決定している平古工業団地の企業と総合 福祉センター建設予定地に進出を予定している企業 は。

【農林商工部長】 六条大麦を使った「麦茶」、はと麦を使った「はと麦茶」、大豆(ふくゆたか)を使った「納豆」や「住人十味噌」、赤米・黒米は玄米で販売。そばを特産物として取組んでいる。農産物としてのそばだけでなく、市内にそばを振興させるため、そば打ちを広めて根底からの名物づくりで『まちおこし』を行っている。平成22年度には85haの栽培で85 t の生産があった。ほとんどが市外利用で90%以上。市民のそば打ち人口増加を狙い、昨年度より「いなべ市そばまつり」を開催。手打ちそ

ばの実演や講習会を行い、市民にそばを打つ楽しさを広めて「そばのまち・いなべ」を定着させる必要がある。

【都市整備部長】 平古工業団地の企業は、リーマンショック後の世界同時不況から、今回の円高・電力不足等の要因で操業計画の見直しが繰り返されて現在に至っている。一日も早い操業に向けて働きかけていく。

総合福祉センター建設予定地の企業は、豊富で良質な水が将来にわたり確保できるかどうかの調査や関係機関との調整も進めてきた。現在では企業のトップの最終判断を待っている。



そば畑 (大安町地内)

北勢線の存続問題をどう考えているのか



多湖克典

【質問】 北勢線運営補助金の期限は、平成24年度までであり、平成25年度以降の予定がたたないと北勢線の存続が危ぶまれる。北勢線が廃止になると市にとっては大きな損失となると私は思う。行政として今後の北勢線の存続問題をどう考えているのか。現在までの経緯と結果、平成25年度以降の市の対応は。

【都市整備部長】 平成25年度以降の支援については、早急に結論が出せるように対策推進協議会で準備を進めている。

【再質問】 北勢線の運営に補助をしないとなると 廃線という結果になる可能性もあると思うが、廃線 のようなことになれば、まち自体が寂れていくこと になってしまいかねないと思う。存続するために黒

INABE-City Assembly Information Magazine

字にできる事業主を募り入札して任せる等、何らかの手をうつことも検討しているのか。補助をするとなった場合、10年単位ではなく、1年もしくは2年単位で検証しながら補助をする方法をとってはどうか。補助を継続するかしないかにかかわらず、北勢線を何らかの方法で存続していく方法を考えていただきたいと思う。

【都市整備部長】 大変重要な機関であるので、今までの経緯を考慮しながら慎重に検討を進めます。 入札は考えていない。補助の場合、短期間で検証する必要があろうと考える。



存続が危惧される三岐鉄道北勢線

- 1 地域交通施策を問う
- 2.保育料値上げ、子育 て関係補助費削減を 問う
- 3. 学校教室環境改善を 問う



日本共産党いなべ市議団 衣笠民子

【質問1】 ①地域交通政策の柱は。②北勢線の現状、今後は。

【都市整備部長】 ①交通不便な人の移動手段施策展開を進める。②平成15年から24年まで沿線2市1町で55億円の補助をして、利用者促進の施設等整備を進めてきた。平成22年度で222万人の利用があり、半数が学生。地域交通として大変重要なものと位置づけている。乗車数増加のため学校へPR、企業へ訪問を行っている。

【市長】 ②学生はすでにめいっぱい乗ってもらっている。通勤客の増加も難しい。平成25年度以降も補助なしには存続できない。平成24年3月までに補助の約束を示す必要がある。

【質問2】 ①平成22年度、保育料値上げの影響は。②小学校社会見学、中学校修学旅行補助を子ども手当支給を理由に削減した。15歳までの年少扶養控除の削減で子育て世代は増税になる。子ども手当の制度変更も行われる。どうするのか。

【健康子ども部長】 ①保育料徴収率は若干下がった。

【市長】 ②小中学校の補助は近隣よりも多い。

【質問3】 ①教室環境調査の結果は。②エアコン設置計画は。

【教育次長】 ①6、7月ともほとんどの学校で30度以上。34度のところも。湿度はほとんどの学校で60%以上。70%を超えた学校もあった。3年間調査を続け、結果をふまえ教室環境整備計画を検討したい。②計画はない。



員弁庁舎前の旧うりぼう



日本共産党いなべ市議団 石原

- 1. 原子力発電と放射能汚 染について問う
- 2.生活困窮者に対する対
- 3.改訂介護保険といなべ

【質問1】 福島の現実を見るなら、原発からの撤 退しかない。期限を決めて他のエネルギーへの転換 が必要。いなべ市にとって一番の危険は、80キロ 圏内で冬の風向きからも敦賀原発。事故時の連絡な ど敦賀市へ申し入れをしては。事故時の対応は。放 射能測定の準備は。定期的な測定と公表を。

【市長】 原子力発電は技術的に未完成。国も反省 すべきはすべき。代替エネルギーへの転換をしっか り議論しないうちに、脱原発だけを声高に叫ぶのは 無責任であり、国全体で考えるべきだ。国及び関係 機関からの指示を待ちたい。

滞納整理については、市民のくらしを 立て直すことを前提に、各課の連携をはかった親身 な相談を求める。

【総務部長】 十分納税者との話し合いをして進め ている。納付困難者には徴収猶予も行うが、長期・ 高額・悪質な滞納者は、地方税管理回収機構に移し ている。

【質問3】 改訂介護保険法が成立した。市町村の 判断で総合事業を創設するなど、サービス内容・料 金等自治体格差が大きくなる。どう進めていくのか。 サービスの取り上げはするな。

【福祉部長】 メリット面が打ち出されているが、 総合事業の基本事項がまだ国から発表されていない。 詳細が分かり次第十分検討をして、利用者・事業者 に不利益が出ないよう対応していく。現行の介護サー ビスの切り捨てはない。





無会派 清水 実

1. 副市長の勤務評価を 問う

- 2.藤原鉱山の事業延期 区域の中止を求める
- 3.国の天然記念物調査 を行なったのか

中日新聞で報道された東京出張旅費詐 取事件。土地開発公社の理事長を市長が兼務してい る問題で市長をかばい、公社は企業会計で16億円 余の赤字なのに黒字会計と偽った。住民監査請求で

監査委員の判断を仰いだ後に住民訴訟を検討したい。

監査結果に基づいて説明したが理解が 【副市長】 いただけず残念に思う。十二分に説明したが理解が 得られなかった。こんな意見もあると言うことを認 識して、市民のために副市長としての職務を頑張り たい。

【質問2】 藤原鉱山の事業延期区域の中止を求め る。

【市長】 治田鉱区は事業者が延期決定をしたので、 無期延期か中止に近いと思うので安心して欲しい。

野鳥の会から山頂区が餌場なので開発を見合わせて 欲しいと要望があるが、事業者に適切な処置を取る よう指導する。

【質問3】 国の天然記念物であるオオサンショウ オの調査について。

すぐにできませんが、交付金や生息地 【教育長】 のことも考慮して長期的な計画を検討したい。オオ サンショウオが生態的な食物連鎖の頂点に位置し、 しかも国の天然記念物であることから、教育委員会 が責任を持って担当すべきことも十二分に認識して いる。



イヌワシ

教育民生常任委員会 視察研修 (7月11日~12日)

「地域との絆」をテーマに、三重県玉城町、和歌山県新宮市を訪れました。

玉城町では、情報通信技術(ICT)を利活用し、 東京大学大学院との共同研究により、効率的な元気バス(予約制の乗り合いバス)の運行管理を実施。それ と同時に同じ情報通信技術(ICT)による機器を使っ て、安全見守りと安全情報配信体制を整えるため、総 務省の採択を受け「ITを利用した安心、元気な町づくり事業」を展開している。

高齢者を主眼に置いた「外出支援サービス」、「安全 見守りサービス」、「安全情報配信サービス」の3つを 連携させた複合サービスの提供。これにより、地域の 福祉・防犯・防災といった公共サービスの充実が図ら れている。



玉城町役場

新宮市立光洋中学校は、著書でも「日本一いい学校」 として紹介された中学校であり、新宮市の郊外にある 小・中一貫の中学校である。

地域とのつながりを重視している学校で、経営方針は「学校と保護者と地域が力を合わせて社会の信頼に 応える生徒を育てる」となっている。

地域運営学校(コミュニティスクール)の指定を受けたことにより、教職員・PTA・地域などの代表者で構成される学校運営協議会を設置。指定がなくなったあとも、地域や社会に開かれた学校づくりの推進のため、多くの活動を展開している。



光洋中学校校長室

產業建設常任委員会 視察研修 (7月19日~20日)

「ご当地グルメでまちおこし」静岡県富士宮市

「富士宮焼きそば」がB級グルメとしてB1グランプリに参加し、全国的に有名になった。そこで、「フードバレー構想」について研修を行なった。

富士宮市が有する自然環境の優位性(豊富な食源)を「富士宮市ならでは」という視点からまちづくりに活かそうと、平成16年に「食」を活かした産業振興と市民の健康づくりを目指して提唱された。富士宮市は、豊かな自然に恵まれた広大な朝霧高原の酪農や湧き水を使ったニジマス、日本一の標高差を生かした多品種の野菜など、古くから多くの食資源に恵まれ大切に育んできた。市民と生産者NPO・企業・大学が連携し、市を挙げて「食」のまちづくりに取り組んでいる。



富士宮やきそば学会 アンテナショップ

「里守り犬による猿の追っ払い」山梨県南アルプス市

猿も鹿と同様に管理体制の対象として、駆除に対して懸賞があるが、これについて猿が「山ではハンターに狙われて危険と察知し、それに比べて里は比較的安全で食べ物も豊富」と学習をすると、里に居つく猿が一層増えることが想定される。

里に居つく猿を山へ追い返すためには、里守り犬の育成にさらに力を入れるとともに、JAや猟友会などの関係団体とも緊密に連絡を取りながら、地域の猿対策の総合戦力を高めることが急務である。

里守り犬は、地域の環境に合った犬種が良いのでは ないのかということで、南アルプス市では甲斐犬を用 いている。



甲斐犬



クイズの応募ハガキに書き添えられた、議会・議会 だよりなどに対するご意見やご感想を紹介します。

- ◎ 介護 1 で入所したいが、 1 カ月10万円以下で入 所できる公共の老人ホームが、いなべ市内にはありま せん。給料を50%カットしてでも造るべきである。
 - 男性
- ◎ この夏から東小学校が建て替え工事が始まり、やっとって感じです。こどもが卒業するまでに完成するので楽しみです。

議会だよりを楽しみに読んでいます。クイズの当選者が続けて2回とか同じ人が載っているのでどうかと思います。たくさんの人が当選するほうがいいかと思います。 40歳 女性

◎ 「災害時の対応を学ぶ」として、京都府長岡京市と兵庫県淡路市への視察研修報告は参考になりました。単なる報告だけではなく、いなべ市での取り組みにどう活かしていくかが大事です。災害に強い自治体にすべくハード面、ソフト面双方の充実を期待します。

76歳 女性

◎ 視野が狭いので知らないことが多い中、「いなべ 市議会だより」を拝読しているいろな事が分かりうれ しく思います。これからも楽しみしています。

65歳 女性

- ◎ いなべ市の議会だよりを毎号楽しみにしています。市政がよくわかり、毎号隅まで読ませていただいております。62歳 女性
- ◎ いなべ市議会だよりで各議員の一般質問に対しての回答コーナーがあるが、レイアウトの配置がわかりづらい。紙面の左側に各議員の質問コーナーにして、紙面の右側を回答コーナーにしてはどうか。

57歳 女性

- ◎ 災害や新エネルギーについて私共も節電に微力ながら協力しています。73歳 女性
- ◎ 70歳になると政治、催し物への関心が薄くなり困っています。 70歳 女性
- ◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。議会改革にも積極的に取り組んであられるようですが、市民によりオープン(例えば議会の夕方開催など)で身近な議会になることを期待します。「事業仕分け」をして経費削減に努めるように、いなべ市に対して求めていただきたいです。 48歳 男性
- ◎ 議会だよりをいつも拝読させていただいております。写真入りで大変分かりやすく議会の内容が説明されていて勉強になります。
- ◎ 議会だよりに写真を載せてもらってよく分かり毎 月楽しみにしています。暑いので体に気をつけて頑張ってください。72歳 女性

◎ 上笠田、下笠田、御薗、みその団地自治会の避難場所は、いなべ総合学園高等学校であるが、学校が低地に建てられているので見直しが必要ではないのか。

男性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。議会改革にも積極的に取り組んでおられるようですが、市民によりオープン(例えば議会の夕方開催など)で身近な議会になることを期待します。

また、「議会だより」についての「アンケート」は、綴じ込みハガキ等で回答(選択肢方式)できるようにしたらいかがでしょうか。クイズも楽しいですが、クロスワードパズルなどを掲載していただくとうれしいです。 76歳 男性

- ◎ 災害時の対策として多くの避難場所を考えてください。55歳 女性
- ◎ 一般家庭で太陽光発電の援助が少しでも受けられる様にしてほしい。70歳 女性
- ◎ 議会だよりを見て、いなべ市内で行なわれていることを初めて知ります。他町のことや直接関係のないことは、やはり他ごとになります。知らないことや、いなべ市が今何をしようとしているのかが議会だよりで知れます。 50歳 女性
- ◎ 暑くて外へ出られないので議会だよりを隅々まで楽しく読ませていただいております。東日本大震災で国の豊かな場所が大きな被害を受け、国政も大変なことになりました。被害は無かったとはいえ、いなべ市も財政が大変だと思いますが、どうか議員の良き政策で力を合わせて頑張ってください。 82歳 女性
- ◎ 私は員弁東小学校の6年生で新校舎には入れませんが完成が楽しみです。 12歳 女性
- ◎ いなべの自然や良い所をもっとアピールしてほしいです。自然がいっぱいあるのだから、青川だけではなく、もっとキャンプ場など自然とふれあえる場所を増やして、たくさんの人に利用してもらえるようになればいいと思います。青川キャンプ場は安価で利用できるようにしてほしいです。他の所には無料のキャンプ場もたくさんありますよ。 37歳 女性
- ◎ 猿対策をお願いします。捕獲柵の設置をお願いします。68歳 男性

INABE-City Assembly Information Magazine

- ◎ 私が田んぼの付近で自転車に乗っていたら、犬を 散歩させている人がいて、散歩中の犬にほえられました。絶対にやめてほしい。71歳 女性
- ◎ いなべ市が住みよい町になるように議員皆さんの力でお願いします。私たち市民も応援しています。

70歳 女性

◎ いつも議会だよりを拝見しています。難しいことはよく分かりませんが、身近な内容が質疑応答されていて、とても興味がありおもしろいです。これからもいなべ市がより良く発展していくことを望んでいます。また、議会だよりも楽しみにしています。

33歳 女性

- ◎ 議会だよりは毎号、すみずみまで読んでいます。 良い点は記事に合わせて必ず写真がついているので分 かりやすく、とてもよい編集だと思います。今後も楽 しみにしています。 74歳 男性
- ◎ 毎回議会だよりを読んでいます。いなべ市の状況 等や議員さんの活躍がよくわかります。阿下喜温泉の 件ですが、観光施設なのかという質問がありましたが、 市長の回答のとおり私は利用者が多ければ結構なこと だと思います。先日、私も四日市市の友達数人と温泉 に入りましたが、友達も喜んでくれました。 女性
- ◎ 災害に強いまちづくり、福祉など住み良い所になれようよろしくお願いします。70歳 女性
- ◎ 自治会要望は担当部課に届いているのか?住民の困っている事、近隣の迷惑など各庁舎に届いているのですか?道路が陥没してそこへ小さな子供が足をとられ転倒しそうになっていました。街灯ですが、子供が通る道なので、もう1カ所設置してもらうと下の道まで明るいので助かります。近所の畑の所有者が朝の4時からラジオを大きな音でかけて、我が家の横へ車を止めて、畑の倉庫の戸を開閉する。休みの日は朝早くからコンバインや草刈の音で起こされる。 女性
- ◎ 高齢者の体力アップを図る目的で、市民の皆さんが月2回程度でもよいので、運動場に集まって自分の体力に合った体力づくりに精進すれば新しい楽しみができると思います。71歳 女性



クイズ当選者

正解は

ご応募いただき、ありがとうございました。

|問1||員弁東 小学校 | 問2|第2 次議会改革委員会 | 問3| マンホールトイレ

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人の方が当選されました。

| 畑 新 田 | 伊藤みどり | 樣 | 西 町 2 | 近藤 修子 | 樣 |
|----------|-------|----|-------|-------|---|
| 東一色 | 伊藤いつ子 | 様 | みその団地 | 亀川よ志子 | 樣 |
| 南中津原 | 伊藤美智枝 | 様 | 東村西 | 西脇 丈良 | 樣 |
| 東 貝 野 | 片山 とい | 様 | 加 野 | 後藤 和代 | 樣 |
| 新 田 | 松永 光雄 | 様 | 丹生川上北 | 梅山 利光 | 樣 |
| 昭 電 | 河上 岩男 | 樣 | 北 金 井 | 日紫喜吉子 | 様 |
| 梅戸 | 和田春美 | 様 | 下 笠 田 | 市川 朋佳 | 樣 |
| T ** III | 士川子油江 | ++ | | | |

下 笠 田 市川千津江 様

応募いただいだ「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

紀宝町での災害ボランティア活動に参加しました。



いなべ市議会議員の有志が台風12号で被災した 紀宝町において、畳、家財の搬出や家屋の泥だしな どのボランティア活動に参加しました。

編集後記

9月議会は、「昨年度の決算を審議する」ということが大きな役目になっています。自治体の決算資料は取っ付きにくい点がありますが、決算でまちの姿勢や行っていることが分かります。また、夕張危機をきっかけに、平成20年度決算からあらたに、財政健全化の4指標が、全国の自治体で公表を義務づけられるようになりました。今回はこの指標も掲載しました。

広報編集委員の任期は1年なので、このメンバーによる「議会だより」をお届けするのは最後になります。分かりやすく手にとって頂きやすいものにと心がけて作成してきましたが、市民の皆様にもクイズを通して多数参加頂きありがとうございました。これからも議会ともども「議会だより」も注目して頂けたらと思います。

12月定例議会(予定)

 皆さんからのご意見、 ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0292

三重県いなべ市大安町大井田2705番地 いなべ市議会 議会事務局 TEL(0594)78-3515/FAX(0594)78-3516 http://www.city.inabe.mie.jp/gikai/